

平成30年度 地域連携活動報告書

協定締結日	2015/5/29	連携先名称	会津若松市
活動状況	終了	連携先窓口	会津若松市観光商工部
活動資金	自治体予算	担当教員(所属)	小池安比古(農学部)
活動体制(単位)	学部	関連教員(所属)	峯 洋子(農学科)、馬場 正(農学科)
活動内容	<p>「次世代型食品生産トライアル事業」の一部として、①トマト、キュウリの適切な栽培条件の検討、②ロマネスコ等のポストハーベストに関する調査、③酒粕を利用した土づくりについて研究を行った。</p>		
活動成果	<p>会津地方の伝統農法における酒粕の使用に関わる栽培試験を東京農業大学農学部において行った。酒粕の成分分析については専門業者に委託する予定。荒川産業に酒粕入り有機質肥料の製造をお願いし、実際に数種野菜の栽培について取り組み、その効果を実証した。また、ドットネットにおける野菜生産での問題点を現地にて視察、キュウリ、トマト栽培における適正な栽培管理について検討した。ロマネスコ、キュウリ等については会津若松市の産地から東京都内の販売店までの品温の変化を追跡、適切な収穫後の管理について検討した。</p>		